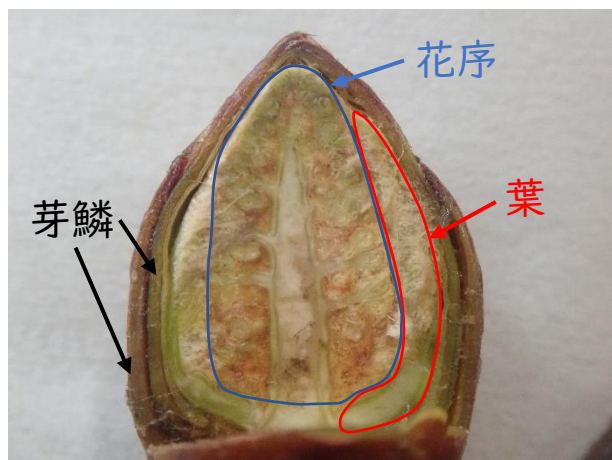


## 植物多様性センターの「トチノキの冬芽の中身」

冬芽の観察において外せないトチノキ。その中身がどのようなになっているか頂芽の部分を解剖してみました。12月中旬に行われた冬芽講座のサンプルを流用しました。まだ少し早かったのか、中身は未熟で固く詰まった状態でした。中身には花序や葉が収納されています。トチノキの冬芽は厚い芽鱗が樹脂に覆われており、更に花序や葉になる部分は短毛で守られていてかなり重厚なつくりとなっています。



縦断面：頂芽は花序と葉が入っている混芽となる。



樹脂がついた外側の芽鱗を外した中にも更に樹脂がある。



3層程あった芽鱗を外した状態：短毛が密生している。



展開した頂芽、葉は掌状複葉の特徴が出ている(3月頃)。